２０２０年（令和２年）　９月３０日　水曜日

デーリー東北　１３面　掲載

【八戸ク－八学大】第2ピリオド3分15秒、八学大はFW田中健太がゴールを決め、2－2の同点とする＝テクノルアイスパーク八戸

デーリー東北新聞社杯
第56回
八戸市実業団アイスホッケー

八学大 競り負け

デーリー東北新聞社杯第56回八戸市実業団アイスホッケーリーグ戦第14日は29日、テクノルアイスパーク八戸で八戸クと八学大が対戦し、ペナルティーショット・シュートアウト（PSS）戦の末、4－3で八戸クが競り勝った。

八戸クは第1ピリオド4分15秒、FW小笠原楓がゴールを決め、先制。1分後にもFW木村裕哉が得点し、2点のリードを奪った。

その後、2度、同点に追い付かれたが、最後はPSS戦を制した。

最終日の30日は、同会場で、共に4戦全勝の吉田産業と青い森信金が激突する。

（取材班）

▽リーグ戦
八戸ク　4　2－1　3　八学大
（2勝3　1－1　（5敗）
敗）　0－1
PSS
1－0

反	補	得	【八戸ク】		【八学大】	得	補	反
0	1	0	中居一	FW				
0	0	0	長根		小川原	0	0	0
0	0	0	中居武		佐賀	0	1	1
0	0	1	小笠原楓		上村	0	0	0
0	1	0	成田		長畑	0	0	0
1	1	0	山之内		吉田	1	0	1
0	0	1	木村		田中	2	0	1
0	0	1	小笠原康		大橋	0	0	0
0	0	0	西谷		本多	0	1	0
0	0	0	圓田		西木	0	0	0
0	0	0	横山		滝田	0	0	0
0	0	0	久保沢					
0	1	1	石橋	DF				
0	0	0	中川原		須貝	0	0	0
2	0	0	柳田		北村	0	0	0
0	0	0	石ケ森					
0	0	0	舘	GK	眞壁	0	0	0
0	0	0	玉舘		大野	0	0	0
3	4	4		計		3	2	3

粘り強さ見せる

○…攻守で粘り強さを発揮し、2点ビハインドから同点に追い付いた八学大だったが、PSS戦の末、惜敗。今大会は5戦全敗となり、上村亮太主将は「守備の連係が甘く、失点が多い大会だった」と反省した。

今大会は守りを固め、速攻で得点を奪う作戦だったが、守備のカバリングを徹底できず、攻撃もリズムに乗れなかった。

田中健太は「少ない決定機を決められるようになれば、競った試合をものにできるはず」と強調。10月に控える次の大会に向け、「試合を想定した練習を重ね、攻守の質を高めていく」と奮起を誓っていた。

デーリー東北新聞社提供